



## 砂防ボランティア通信

特定非営利活動法人大阪府砂防ボランティア協会

理事長あいさつ

26年度通常総会を開催

この1年の活動概要報告

危険斜面等の点検調査

地域調整委員会活動

研修会・講習会

河川室だより(大阪府)

### ☆ 理事長あいさつ

大江 徹

5月30日の通常総会において、昨年度に続き、理事長を務めることになりました。会員の皆様には、土砂災害の防止のための調査、啓発など当協会の活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

皆様ご承知の通り、当協会の中心的活動でありました斜面地の調査がこの2年間実施いたしておりません。これは、大阪府の土砂災害防止法の運用によりやむを得ないものとはいえ、会員の皆様方の活動の機会が減っているのは誠に残念な状況であります。調査を通じて地域の住民の方々に土砂災害についての理解を深めていただき、災害時の迅速な対応をお願いするいわゆる「啓発活動」は、我々砂防ボランティアの責務と云える重要なかつ地域貢献度の大きい活動であります。

一方、斜面地の調査に代わり、土砂災害のハザードマップを地域住民で作ることが進められております。この作成はワークショップ形式で地域住民のグループ作業で進められています。このワークショップに砂防ボランティアが参加し、そこで土砂災害の内容や地域での危険性を説明することにより、より充実したハザードマップを作製できるものと期待されております。現在はモデル事業として各市町村数か所で実績ができており、今後この地域を拡大していくことが求められております。

当協会としても、この要請に응えていかねばと考えておりまして、会員の皆様方には、今までの斜面調査の作業と少し変わった作業でのご協力をお願いしていくことになると思いますのでよろしくお願いいたします。

また、去る6月5日に熊本市で開催されました「砂防ボランティア全国の集い」において藤本光大氏と井上整氏の両副理事長が「砂防ボランティア活動など功労者表彰」を受賞されましたことをご報告申し上げます。長期にわたり地道な活動を続けてこられたことが全国の模範となるものとして認められたものであり、共に活動する者としても喜ばしい限りであります。また、会員の高齢化する中で、最近会員の地元での活動に感銘を受けられて数名の若い方が入会されたという朗報もございました。

皆様のご協力を得まして、協会の活動を充実し、土砂災害の防止の活動が幅広くなるよう努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



平成26年度通常総会

### ☆ 平成26年度通常総会を開催



大阪府山田河川室長のご挨拶

5月30日(金)、大阪府立労働センター「エル・おおさか」で通常総会を開催し、平成25年度事業報告・決算報告を承認、平成26年度事業計画・予算、理事の任期満了による新理事の選任を審議し決定しました。

また、総会終了後には平成26年度第1回の会員研修会を開催しました。

## 平成26・27年度執行体制

|       |                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------|
| 理事長   | 大江 徹                                                                |
| 副理事長  | 藤本光大 井上 整                                                           |
| 事務局長  | 中田 智                                                                |
| 理事    | 吉村 滋（総務） 東郷 茂（財務） 若菜邦雄（企画広報）<br>上島 保（事業調整） 下清水則男（地域調整）              |
| 監事    | 川崎茂晴 平井俊郎                                                           |
| ブロック長 | （池田）上畑憲光 （茨木）東郷 茂 （枚方）下清水則男<br>（八尾）川口恵司 （富田林）八木誠一 （鳳）田中拓夫 （岸和田）阿部捷歳 |

※今度は新たに事務局長を置くこととしました。

## ☆ この1年の活動概要報告

### 危険斜面地等の点検調査・防災啓発活動

土砂災害から府民の命を守るため、大阪府や市町村と連携して土砂災害防止のための点検調査や防災意識の向上・啓発に努めました。

昨年度の活動内容は、土砂災害危険箇所の「パトロール」・「緊急点検」等（14回27名）を実施するほか、啓発活動の一環として、府下各地区で進められている土砂災害警戒区域等において住民と一緒に「地区単位のハザードマップの作成」のワークショップに参加協力（14地区、31名）するとともに、地すべりの動態観測地である八尾市黒谷「市民の森」の除草活動に参加（2回、6名）しました。

会員の活動は30回、延べ参加人員64名となり、会員の積極的なボランティア活動は府民からも好意的に受け止められており、これからの地域防災力の向上にさらに寄与するよう努めていきたいと思ひます。



土砂災害危険箇所のパトロール  
（枚方土木管内天野川前川支川）



ハザードマップ作成  
（柏原市雁多尾畑地区）



清掃活動  
（八尾市黒谷地区市民の森）

## 研 修 会・講 習 会

### 1. 砂防施設見学会－六甲砂防事業地－

・平成25年11月21日 砂防施設見学会

国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所の協力を得て、秋空の六甲山に会員19名が参加し、直轄砂防である六甲砂防事務所の現地での研修会を実施しました。今回は、例年のバス移動による見学会と趣を変えて、現地集合、弁当持参のハイキング形式となりました。

参加者は、神戸布引ロープウェイハーブ園山麓駅に集合し、「山麓駅」から20分の「中間駅」で下車。その後徒歩で「布引五本松堰堤」（日本最初の重力式堰堤、利水用）のダム湖に沿っ



市が原で六甲砂防事務所から概要説明を受ける



て歩き、市が原（堰堤の上の堆砂敷き河原）で昼食をとりました。市が原で六甲砂防事務所の方々と合流し、出口茂司専門役から六甲山砂防の沿革、なかでも大きな被害を出した昭和 13 年、42 年災害、また平成 7 年の阪神・淡路大震災に伴う災害等、六甲砂防の概要について説明をしていただきました。その後、大龍寺を経由し「諭鶴羽堰堤」など古い施設や、不透過堰堤にスリット化を施した「多々部東堰堤」のような新しい堰堤を見学し、終点の諏訪山公園に到着しました。全行程 5.8 km、高低差 280m、5 時間にわたる研修会でした。

六甲の山はまさに神戸の町の裏山で、言い換えれば、「神戸の街は『六甲砂防』に守られている！」ということを実感しました。これが具体的にグリーンベルト事業（斜面地の買収と斜面保護の緑化、緑化には小学生、市民の参加を進めている）という特別な事業にも発展しています。



六甲砂防「多々部東堰堤」で参加者との集合写真

## 2. 砂防講習会

(1) 平成26年2月4日 近畿2府4県の砂防ボランティア協会共催の講習会（場所：兵庫県神戸市）

(2) 平成26年5月30日 通常総会后、会員研修会を開催(参加会員30名)

・「近年の土砂災害の得た教訓について」

講師 社団法人全国治水砂防協会  
理事長 岡本正男

・「大阪府の土砂災害対策について」

講師 大阪府都市整備部河川室  
河川環境課主査 紙野彰子



平成26年度通常総会后の会員研修会風景

講師：岡本正男 全国治水砂防協会理事長

### ☆ 平成26年度の主な事業予定

- ・ 10月 砂防施設見学会・砂防ボランティア研修会
- ・ 1月 水害・土砂災害に関する防災講演会（大阪府砂防協会・河川協会と共同開催）
- ・ 2月 土砂災害に関する講習会（近畿ブロック）近畿2府4県砂防ボランティア協会共催（奈良県）

- 



大阪府砂防ボランティア協会